

## 学校教育自己診断アンケート結果について

令和 2年 2月 28日  
摂津市立鳥飼東小学校  
校長 森田 優人

平素より本校の教育活動についてご理解とご支援を頂きありがとうございます。また、昨年末にお願いした「学校教育自己診断アンケート」に回答を頂きましたこと、ここであらためて感謝申し上げます。以下、大まかではありますが、その結果についてお知らせいたします。皆様より頂いたご意見を今後の教育活動に反映させるべく職員一丸となって取り組みを進めてまいりたいと思います。皆様の一層のご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。

以下、肯定的回答の割合80%を目安として、上回るものを「評価を得た」下回るものを「課題がある」と表現するようにしています。↑は昨年度よりアップ、↓はダウンを示します。

### 《保護者アンケートの結果について》有効回答率：79%（↓11pt）

#### 【情報発信について】

昨年度課題があった情報発信の面では改善が見られた（87% ↑1pt）

家庭との積極的な連絡の面で明確な課題が見られる（74% ↓10pt）

#### 【学習について】

昨年度課題が見られた評価については改善が見られた（88% ↑6pt）

分かりやすく楽しい授業づくりの面で明らかに課題が見られた（71% ↓10pt）

宿題の量について大きな課題が見られた（70% ↓12pt）

#### 【学校生活について】

いじめのない学級づくりの面で課題が見られた（72% ↓6pt）

### 《児童アンケートの結果について》有効回答率：93%（↓6pt）

#### 【1、2年生について】

ほぼすべての質問項目で肯定的回答が昨年度を上回った。

学校へ行くのが楽しいについて、大きく改善した（92% ↑16pt）

授業での発表について、大きく改善した（90% ↑17pt）

困った時には先生が助けてくれるについて、大きく改善した（98% ↑14pt）

#### 【3～6年生について】

ほぼすべての質問項目で肯定的回答が昨年度を下回った。（平均↓6pt）

中でも、肯定的回答が8割を下回った項目は以下の通りであった。

学校へ行くのが楽しい（67% ↓14pt）

挨拶は自分から行っている（77% ↓5pt）

分からないことを先生に質問しやすい（71% ↑4pt※改善は見られる）

話し合い活動で意見を発表している（70% ↓10pt）

授業は分かりやすく楽しい（75% ↓11pt）

授業で実験・観察・見学をする（67% ↓13pt）

授業で自分の考えを発表する（58% ↓14pt）

担任以外に気軽に相談できる先生がいる（65% ↓3pt）

先生は困っていることによく対応してくれる（74% ↓7pt）

### 《課題分析と対応の指針について》

先生は、子ども達と一緒にあって、どの子にとっても等しく安心できる居場所としての学級づくりをしなければならない。今年度のアンケート結果の根底にある課題はその部分の弱さだと言えるだろう。その中でも特に「子ども達と一緒にあって」という部分、つまり、子ども達がクラスの課題をきちんと捉え、その解決に向けて友達と力を合わせて取り組むように仕組んでいく部分に、弱さがあったと考えている。子ども達が課題を他人事ではなく自分事として捉え、仲間と一緒にあって改善に向け努力できるようになるため、今後はそれを「見える化」し、スモールステップで改善の成功体験を積み重ねて行けるような学校運営を推進したい。

また一方で、授業中に充実した時間を過ごすことが子ども達の成長にとって非常に大切である。前述の「安心できる居場所」で、お互いに認め合い、教え合い、学び合いながら学習に取り組むことで、「分かった」「できた」「頑張った」の共有が可能になる。暖かく自主的なクラスづくりと学び合いを実現する授業力の両輪で力強く子ども達の成長をサポートできるように自己研鑽・修養に取り組みたい。

情報発信の課題については僅かではあるが改善が見られた。しかし一方で、家庭との連絡交換については大きく評価を下げてしまった。学級担任を中心に職員全員で保護者の信頼を得られるように丁寧な連絡を心掛けなければならない。日々の子ども達の様子をとらえるためのアンテナを高くし、職員間の情報共有を促進し、未然防止や初期対応など、これまで以上に臨機応変な組織対応ができるよう、職員一丸となって力を尽くし、より良い学校づくりを進めたい。